

## Case Study




ザ スタジアム

“ 幻想世界への没入感を、高輝度プロジェクターが叶えてくれた。 ”

### 感動体験を通して、 生きものの魅力を伝えたい。

マクセル アクアパーク品川は、生きものたちの世界に「音・光・映像」による演出を融合させ、新しい都市型エンターテインメントパークとして始めました。施設の名前をあえて「〇〇水族館」とせず「アクアパーク品川」にしたのも、水族館を超える空間をつくりたかったからです。もちろんいちばんの目的は、生きものたちの魅力を伝えることであり、そのための手段としてプロジェクターを使った演出を行なっています。生きものが好きな方に加え、デジタルコンテンツが好きな方や、先端技術やトレンドに敏感な方たちもここに来ることによって、生きものや海の世界に興味を持ってもらえればうれしいです。

### 明るさが変わると、印象が変わる。

生きものの魅力をもっと広くアピールしようと2018年、マクセルの高輝度レーザープロジェクターを取り入れることに決めました。導入してみてもいっばん驚いたことは、明るさが格段に変わったことです。違いは見た目でもはっきりと分かり、写真や動画を撮ってもかなり明るく再現することができます。また、これまでパークエントランスや1階のコーラルカフェではランプ光源プロジェクターを使用して

いたのを、レーザー光源に変えました。施設は営業時間中、長時間にわたりプロジェクターを使用しているため、ランプ交換を年に2回ほど行う必要がありました。メンテナンス費用など長期的なランニングコストを考えると、レーザー光源に変えたことにより負担が軽くなりました。さらに、マクセルのレーザープロジェクターはさまざまな設置場所への対応も可能で、横長や縦長の場所、床などにも投写ができました。コンテンツ制作チームとしっかり協力体制を組んでいただいた上、設営の際も技術者の方からのサポートは手厚く、機器がもつ性能を最大限に活かしてもらえたと思っています。より明るくきれいな世界をつくり出すことができ、管理のしやすさも向上し、お客さまにとっても、私たちにとても良い効果をもたらしてくれました。

### 一歩先を行く エンターテインメント施設をめざして。

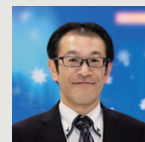
マクセル アクアパーク品川は、館内の床や壁、空間全体を映像演出に使っているため、中へ入った瞬間、異世界へ入り込めるような感覚になります。今回、プロジェクターの輝度が上がったことにより、それがさらに高まったのではないのでしょうか。パークエントランスからザ スタジアムまで、これだけの明るさですから迫力もあります。お客さまからもそういった

空間の魅力に対するお声をいただくことが多く、非常にうれしいです。これからは先端技術を取り入れられたり、新しいコンテンツを考えたり、常にお客さまに感動体験を提供しつづけていきたいですね。

### PROFILE

マクセル  
アクアパーク品川  
館長

藤森 純一 様



「音・光・映像と生きものの融合」をコンセプトに掲げ、デジタルアートを用いた演出で、生きものの魅力を発信する。季節やイベントに合わせた多彩なテーマで人々を魅了し、都市型エンターテインメント施設として進化を遂げている。



所在地：  
〒108-8611 東京都港区高輪4-10-30  
(品川プリンスホテル内)

<http://www.aqua-park.jp/>

